

第 113 回紫友まち歩き

江戸東京たてもの園とお花見

案内人は、案内人補佐と 3 月 10 日に下見を実施。その後は、桜の開花状況と天気にはハラハラ、ドキドキだったようです。実施前日までには雨予報も出ていましたが、当日は花曇り時々晴れというまち歩きやお花見には絶好の日和になりました。

日時： 2026 年 3 月 28 日(土)

集合時間： 14 時

集合場所： 東小金井駅中央改札近く

参加者： 18 名

案内人： 大平 018E、補佐柴田 017D

懇親会： 稲わら屋 武蔵小金井店

懇親会参加者： 14 名

歩いた歩数： 約 12,000 歩

<まち歩き>：

■まち歩き行程

東小金井駅→玉川上水（梶野橋）→玉川上水沿いの花見→玉川上水（陣屋橋）→小金井公園（小金井桜まつり会場）での花見→江戸東京たてもの園見学→武蔵小金井駅→懇親会「稲わら屋」

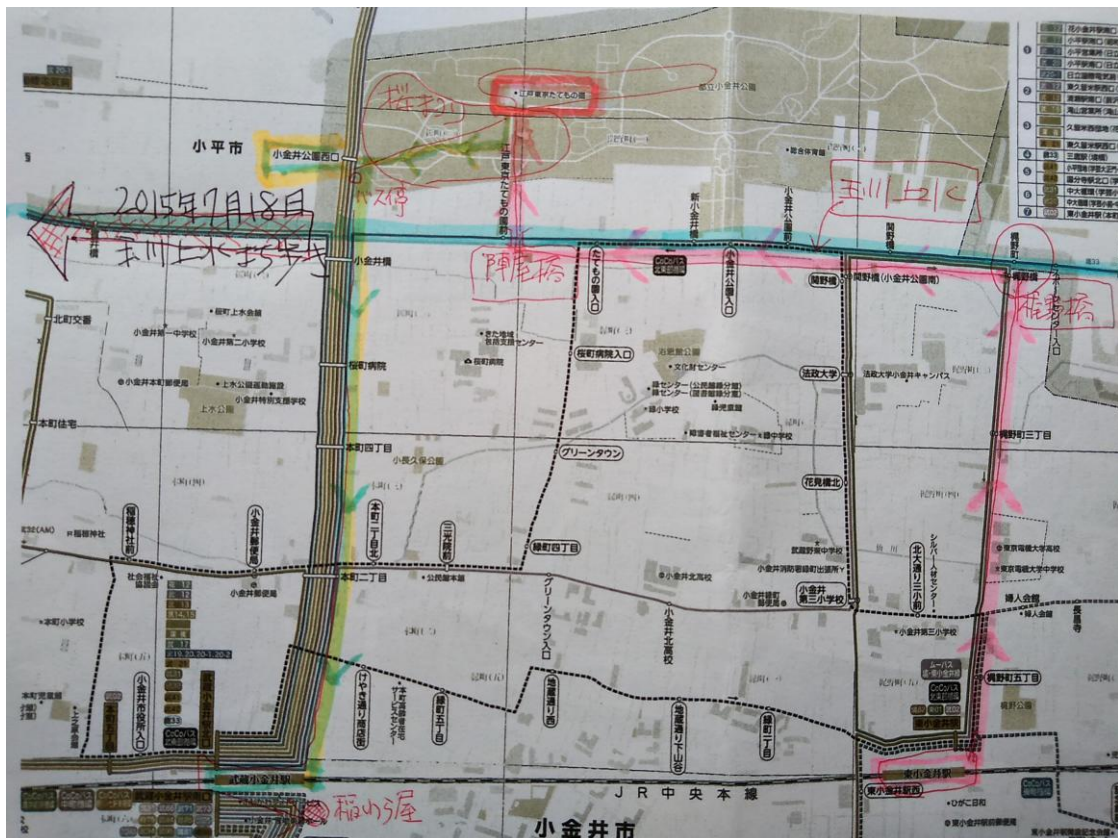
（下図まち歩きルート参考）

<スタート>

写真を見ながら楽しんでください。

① 東小金井駅：

14 時に東小金井駅中央改札集合。今回は集合時間に遅れる人はいなかった。





案内人からまち歩きのルートなどについて資料配付と説明。前ページ参考。玉川上水まで歩道を横に広がって集団は歩いて行く。自転車を通してくださいね。



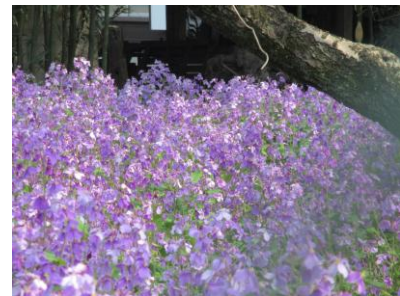
土手道の桜は満開にはまだの状態。



ハナニラ、タンポポや大根の花など春の花が咲いている。楽しみながら、1時間ちょっとのまち歩きでした。

② 玉川上水（梶野橋）→玉川上水沿いの花見→玉川上水（陣屋橋）：

梶野橋から玉川上水の土手道を上流（左手）に進む。土手には若木が植えられ、老木は切り倒され、切り株がずっと並んでいる。両方の土手の間に2m弱幅の上水が流れている。



バレー部の 0170B と 0220G が先頭を歩いている。



<参考>2015年7月のまち歩きでは、小金井橋から上手へのまち歩きで、土手を木々が川を覆うようでした。そのときの写真です。



③ 小金井公園(小金井桜まつり会場)での花見

入り口で集合写真を撮る(最終ページ参照)。小金井桜まつり会場の雰囲気を楽しむ。舞台での太鼓や広場でのひよっこの舞など、子供達や外国人も楽しんでいました。



屋台もたくさん出ていて、大繁盛のようでした。イカ焼きは既に完売でした。



④ 江戸東京たてもの園見学：

15:45 に江戸東京たてもの園入り口に集合。本日は開園記念日で無料。うれしい。まち歩き補佐の建築家柴田 017D が、江戸、昭和期建物の歴史的流れなど説明してくれました。その後、各自の见たいところにそれぞれ見学に行きました。2.26 事件の高橋是清邸 2階の部屋、日本の近代建築発展に寄与した前川國男邸などを見学。



(高橋邸)



(前川邸)

さらに下町中通りの昭和時期の建物を中心に見学。「植村邸」の表と裏手からの写真を撮る。銅板には戦時中の空襲による爆弾等の破片が突き刺さったへこみがありました。



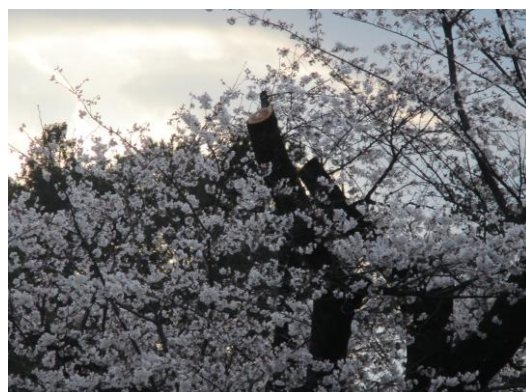
下は武井三省堂（文具店）と花市生花店。



16:45 までに見学終了者が徐々に集まり、談笑を始める。



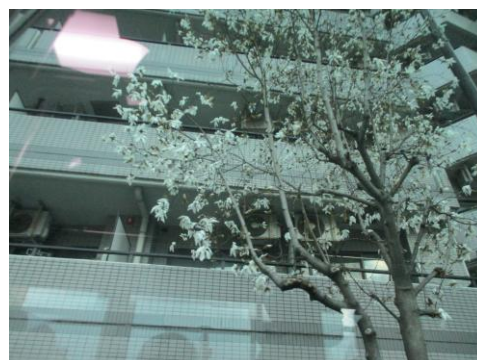
案内人補佐からは、最近「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿」でなく、次世代につなぐための「計画的な剪定・更新」が全国進行中で、ここでもその方法が採用され、桜の木々もあちこちで切られていると説明をしてくれる。



一部の人からもう歩くのはやめよう、バスで早めに懇親会場に行こうとの声が出る。案内人が参加者に問うと、異口同音に賛同を得て、バスで武蔵小金井駅まで移動することになる。桜見学の人たちの宴会の中を西口そばのバス停に向かって歩く。

⑤ 武蔵小金井駅：

2 台目のバスで全員が乗れ、駅まで移動できました。武蔵小金井駅までの歩道のコブシかハナミズキの花を車窓から見学。



⑥ 懇親会「稲わら屋」:

一部の人はここで解散。14人が懇親会に参加。



地下の飲み屋でエレベータもないから安くしてくれていると案内人補佐はいう。4000円での飲み放題の懇親会でした。いつものように良く飲みました。

その後、新宿駅の韓国のお店で数人が

最終電車頃まで飲んでいたようです。

以下のQRコードから紫友まち歩きの報告書に行けます。本報告書も後ほどアップ予定です。

なお、No. 62 第51回 2015. 7. 18 玉川上水を歩くも一読してください。



以上

2026年も楽しくまち歩きをしましょう。

<集合写真を撮ってくれたおじさんが、もっとニコニコ!!と言ってくれたので、皆さん良い顔ですね。>

